慶應義塾大学学術情報リポジトリ

Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	米布合併の先例(其一)
Sub Title	
Author	板倉, 卓造
Publisher	三田学会
Publication year	1910
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.4, No.3 (1910. 9) ,p.287(41)- 310(64)
JaLC DOI	10.14991/001.19100900-0041
Abstract	
Notes	論説
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19100900-0041

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって 保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

る 利 る 7 b 己 K 否 K す 宗 る of る 0 て K 정 至 所 必 的 生 ね 0 7 カゴ 0 之 原 を 如 力 C 7 0 未 明 何 大 生 0 完 活 K τ 得 疑 方 的 づ 題 可 的 な 0 面 生 は き 現 Ė t 如 叉 を 0 6 7 故 を 정 ず 左右 遙に に、吾 K ず。 切 用 圣 利 之 0 を K す 大 M 及 な C ઍ 3 る 7 す 0 8 3 0 勿 0 0 0 b 0 あ 之を 由 必 3 述 る せ 0 次 0 III ば 的 由 及 沒 有 其 哲 す 原 發 始 及 を 學 世 る は 達 得 因 캢 的 3 \$ n 2 發 Ł ず。 原 0) 原 る 明 動 逹 如 X 斯 を 力 K 及 <

合 0)

造

ラ ン 其 7 近 是 は 事 す 6 礼 ---た 昨 0 0 3 先 例 0) 0 似 8 自 世 す 實 今 耳 ば 度 は を る 力 0 す H 加 7 コ Ħ 合 扩 合 ⊐, 了 ス 古 此 જ 由 X 加 之 可 0 E 合 重 初 す 要 る 併 0 ----な 國 九 K 合 珍 は 小 る カゾ 0 \odot 布 國 0 \circ 力> な 哇 護 年 K カゾ 如 英國 於 を 國 我保 步 合 7 K

41 理 上 政 商 に、太平 洋 K

二八七

其

42

日 71> 0 升 75 3 係 す は る 同 日 に 本 を 加 是 將 非 來 ٤ 噩 中 8 紃 K 亚 國 大 \mathfrak{B} を 陸 30 我 る K 可 力 7 カ> 0 5 治 3. 下 K る 通 置 2 か \$,

於 て 当 艈 る 他 全 加 國 て岩 然 故 若 を 年 £. Z 江 約 0 Τ, ż 床 す を し、耳、 K 係 o K 努 7 K 發展 め つ 容 H 世 7 易 弯 す ---る 7 交 0 大統 る O Z, り、第 心 き る は 8 2 飯 大 扶 H 室 K 1 飯 ラ Ŧ 了朝鮮國 机 立 J 國 を 若 0 は 厅 自 Ġ, を 第 を 先 0 K 危 K に づ K K 4 米 す る 7 西 加 H 0 海 K 如 T 本 る 当 づ 0 加 使 通

て 之 布 CA 主 0 0 0 8 胜 0 0 を る \mathfrak{P} U を承 な 75 土 る 其 る 其 r 獨 認 5, る 米 江 全 以 を 旨 7 を 他 政 1 竹 國 宣 ঠ K す 3 漫 至 四 1 X) 0 初 を る る る る は み (X) す 变 日 至 0 ず 略 あ あ 局 更 とて 治 B 2 h 儿 四 立 を \equiv 年 カ> は 米 年 米 た 七 0 打 米 K 八 江 毎 \Re す 年 は 0 た K 同 る 島 Z 決 立 K ζ 加 7 に 英 し 立 於 >

二八九

43

至 3. 爭 る た 心 子 0 を、今 致 K す •---夫 0 7 改除す を る K 世 女 若 6 は、 カ> Ţ H る カゴ 多 5 7 逐 は 年 窳 K τ ろ す V ょ 立 侵害 至 逐 我 0 之 K 合 を 75 合 る 併 し て 之 す 八 年 な

以 勒 す 上 可 合 至 る 見 た H 랓 す る 4 弘 0 0) 孜 を ~ 布 今 જ 合 更 1 布 0 合 來 に、恰 7 0 の細 日 申 K K す を る 5 は 相 & す 信 憑 兩 12 如 す 者 Ė 可 0 0 類 Ė 類 材 0 料 0

米 ン布 交 通 90 チ 布 群哇

0 屬す 3 サ k. ij + 前 島 Ä እ

龙 を 70 ず 者 યુ た な 群 大 臣 島 サ 0 × Ε, 刀 n ij 과: E ッ

後 後 つ 0 0 て K 3 可 明 な 王 7 る Ch K ٤ る 7 云 重 島 民 7 Iď な を 有 7 ッ • 七 導 る 名 = を 儿 0 Ė 11 7 7 J, 刻 海 年 ブ 西 し、國王 其 家 23 K を ス JE. 第 ヴ 牙 大 T 0 Ξ す 文 7 噩 5 K 巴 明 JI. 知 ン 哲 × gr 加 見 5 を ヴ N b 久 3 IJ 江 る b75 を た 0 其 Ξ る り、ヴ 1 る 2 五. た 7

英國 7 は 7 方 K 0 注 意 告 本 * 奪 は V. 22 逐 K 10 る 哇 i^ti は 飯 8 實 8) K す 國 革 る ζ 命 3 0 能 は H 灾 7.

る を 石 知 5 造 送 た 0 K K 露 5 約 7 ラ K 露 Ė を 次 ば Ø 人 す フ 6 は CL 71 0 る 其 入 哲 叮 정 心 心 ž 之 K 方 7 0 を 聞 此 E K 成 < 報 島 K 3 p 露 主 國 ず 直 帝 0 L K K b 國 次 彼 達 7 通 退 祭 મુન 商 ž 5 曾 K 上 通 0 退 た 0 商 Ł は 却 き、帝 特 たり。 K τ 0 權 着 Ł 道 は之を 命 加 を す。 グ 8 な 、其後露 じ、遂に 得、且 露 布 開 财 認 シ. 0 0 K 其 國 $\mathcal{Y}_{\mathcal{Y}}$ 史 间 有 か 築 家 島 は 9. 司 眼 \circ 布 を 些 テ Ļ 监 儿 12 露 ___ 年 八 K 3 帝 1 露 0 對 城 云 0 0 -頒 頃 砦を \$ 保 す Ħ. ネ 7 護 る E 年 フ ラ 野 破 7; Ø 0 ス 贮 下 記 力 z す 隻 7 0

(III)、米布の交通開始

見 た 0) 0) 貫 る 之 た K h 7 云 参 \$ す \mathcal{T} **---**加 0 同 加 る 鯨 迹 K 多 0 Ł が す なり る 否 年 業 0) 方 產 至 盽. を 非 此 K 常 b に K を 八一 取 島 જ 1 0 0 富 復 K 引 米 國 九 盛 來 す U 米 沢 年 Ŀ 70 る る 宣 0) E 米 米 更 告 國 0) K K な げ は 商 75 0 捕 旣 K 交 b þ は K 人 米 7 0 0 す 民 英 占 加 人 史 K る 程 意 立 0 K 8 Ch 在 Ŋ. 存 E ~(す 行 滅 to 旭 す る 或 敎 最 S は 捕 ķ る n 玄 જ 鯨 现 B な 之 る ~(૪ 國 K 米 を 0 5 0)

二九二

米布合併の先

47.

九四

き 70 3 米 0) 交通 5 とせら

the United b_{o} 官 執 h Ħ. 政 K 爲 年 府 め、一八二 が、非 を 0) States for 7 ブ 米布 き。 公 ij ジ ン O K 年 X 政 ジ ス 7 =1 布 加 0 哇 ン and ジ 0 に、初 立 \$ る K チ seamen) th = 1 る क्ष ヤ 央 b た 女 8 政 ~ Z る る 7 ス を K 任じ、 チ 了 Ħ 7 る CL め b Œ 정 た た 龙 方 を ン 0 1 る b 箇 0) ス 官 8 は 年 交通 ン 米 及 第 實 が、ジ 0) に 國 る 8 政 H E 정 布 開 治 遣 •----商 つ 八三 就 哇 0) な K t ~ 八 於 布 ス 10 係 事 云 年 哇 v) H る を 通 商 派 及 Š る Z 保 頒 0 官 遣 7 CK \aleph 隆 Ł は 3 Ò ン せ r Ø を L 職 め 2 7 7 J.

0 米 他 1 0 關 渡 來 し す 7 種 る क्ष 1 0 \mathcal{O} 爭 多 論 当 * Y 生 加 じ、兎 5 る 角 K 米 連 人 n ٤. 島 島 國 民 政 Ł 0 又 間 は 柄 島 民 滑 7 * 0 觖 に、商 \$ 動 क्ष 賣 7 取 12 引

=1 3, ジ 頒 る 7 な 3 7 K る 0 る ず 諸 判 K 政 0 て. friendship, 漫 かぎ ~(布 K 通 が た 0) (V) W 完 K 行 8 全 commerce, 色 ŋ は る 7 頒 約 けと and navigation) る る 工 7 諸 チ かぶ 承 條 如 た 目 面 認 款 0 何 IL 8 な K 含 布 は 7 B 布 圣 在 み、殊 哇 ン ン て、ニ 2 を 要 3 ら 0 ず、艦 \mathbb{Z} 70 至 る カ> た K を 世 見 此 交 U 3 る 長 す 約 可 ス は と た ず 沙 元 11) は

二九五

7 オ JE. す ン る K を 至 る 手 女 77 4 K K 殆 述 枀 چ 可 7 な K 立 四 を は 結 び、三 75 b き。其 九 卿 年 19 佛 後 V Ξ 國 軍 六 7 年 艦 ン 加 亦 0) K 在 外國 7 也 5 n b 更 英 D 7 約 7 を r

右 0 K 0 を 11 K る 1 國 0 Ξ 0 E は る 直 5 改 手 K ず、諸 0 を 文 5 主 な 加 大 う ン ż 中 米 * 0 7 K 大 軍 を に、之 て (D) 布 質 £ 13. を 哇 K 將 處 0 \aleph 0 0 法 b 罰 ジ 0 t 7

に す 7 及 C K 對 云 L ふ 布 D' 獨 立 國 Ł L 7 Ø 權利 義

る 其 Ţ 最 る 上 初 史 K K. は 11> る 加 3 す 0 來 み な Τ 5 સુ 固 續 ず £ 强 出 b 7 其 Œ 7 穿 た 內 发 n 面 鑿 K す 0 事 可 立 强 懵 B Ž 要 承 K 정 至 認 Ţ h 世 7 5 心 る ٤ る は 種 可 1 間 Ħ K Ł K 0 至

(四)、布哇獨立の承認

70 Ξ な 儿 米 7 迫 8 3 7 X) 世 3 n を を ズ 水 n 加 示 70 \sim 3 大 70 せ 軍 3 め、或 r 行 は は 兩 は 派 n ~ 其 K 7 0 僧 7 多 は は K 忠 國 人)を K す 訴 放 0 逐し、 70 \sim 宣 2 7

米布合併の先例

米 0 t を 加 英國 だ 心 領 次 0

Ŀ n 議 す 0 令 可 0 70 る 7 を L 直 を K Æ. 3 3 ζ K 與 項 つ ^ 殖 无 7 8 を 國 厾 · 赤 籄 \pm 政 15 冤 ζ 1 條 0 Ł 7 0 * 汿 IL る 求 る 條 を す 7 て 0 約 3 責 四 K 0 長 任 國 名 Ŧ 實 0 7 7 K 1 と 8 王 7 11> 長 途 K K 中 於 印 7 ラ U な 與 也 す 7 **シ** 王 す 負 認 る ラ F. 擔 X) は 全 き U 之 b す ス と、三、舊 は Ł 可 立 民 共 デ 内 B つ K ホ 0 B K Ξ K 迫 7 敎 を 害 0 IL 徒 鄙 返 ズ 8 政 3 旗 附 艦 0 0 r 0 加 K 長 保 す 着 ζ K は Ł 證 7 可 K K す 極 は 由 + 8 し、五 を 之 金 る 世 金 る 8 B 8 ---

K هبنو CK 通 兩 之 7 광 王 は 商 日 K 王 世 K た 加 7 K 破 0 を て 冤 を 事 7 0 K 加 が た 質 る な 8 カ> る 5 仇 な 3. を 椞 3 可 國 中 た 軍 米 b Ł £ 可 國 か 國 75 *b* 云 此 h 王 0 U 3 指 條 示 0 る Ś Ł 要 政 約 亏 名 歸 末 府 0 70 Śì 來 甚 は K K K 可 70 સ る だ 其 は 粱 3 急 7 た 歸 な 從 文に、一 重 る K 還 す 價 r る 女 金 宜 る 稅 皉 言 6 0 Ŧi. K ঠ 分 商 7 0 た 8 11 8 以 3 就 上 K Œ テ 同 0 中 ξ 高 葡 9, 證 K 率 葡 \$2 金 英 あ ズ \$, 2 K 米 及 酒 L る 至 0 る ブ 如 飯 \aleph 長 を を n t ---僧 ラ 如 Id 軍

米布合併の先例

T ズ Ÿ 0 ズ を 6 る 國 る を て、ア ン 0 b 英國 750 爲 才 兩 て、島 સ્ 用 加 K B 使 る \emptyset 人 K わ V V 英、佛、米 節 K 從 民 な 丰 0 コ" を K ~ し 1 國 サ 布 $\boldsymbol{\mathcal{V}}$ を 米 N n E 特 國 ば 事 哇 州 外 ン る 目 る 三國 先 を 國 0) 0 使 情 15 K જ E 英 秘 を K 遺 づ 法 K を 1 0 列 K 書 英、佛 精 派 領 が 律 **y** ---遣 遣 官 通 國 家 Ų し Ł J, 使 し す は 米 난 70 次 £ プ プ 28 る 彼 飾 7 75 1 0 る 5 る K y リ、オ Ξ 其 た Ξ る Ţ > ٤ 0 圣 ン 1 る b 國 云 希 ナ 鷼 人 F 獨 了 立 國 矢 偷 Ω 0 K 望 ٤ ソ 今 る Z, 米 派 0 事 及 敦 を 8 K な ン 送 國 遣 有 實 b K る 0 宣 5 す 玄 す あ ٤ 會 認 £. 合 ∛ 敎 爲 代 る t N 3 5 0 L 70 亚 す 師 祉 理 t る 帷 を ζ 7 り三 使 長 飯 だ સ K Ł る ょ 事 其 0 L K 英 K 布 L を 功を 人 使 7 決 Ł E あ K Ł 聞 國 Ļ L 節 N 扩 か し 奏 て、獨 ずと 王 10 چ カ> Ì 7 0) < ____ 八 せざ も、之 や、英 江 Ø 留 目 3 顧問 を締 四 的 Ů, 3 ~~ 0) જ 並 B ょ __ 國 b 直 8 0 1 年、 ジ、シ た を 承 b 但 K K 頒 有 7 認 る 當 折 事 爲 先 L サ 之を 8 1 せ を Ė IJ 1 ム 少 チ 廣 チ 布 求 14 プ Ÿ t 以 P る b3 ソ \aleph < Ο 7 年 IL ン

せ L ŀ ン 70 8 を 亦 る 75 其 D W b 途 70 た 中 \mathbb{C} る る ょ 정 事 b る × 前 後 英 7 丰 記 K シ 至 0 ケ 7 h 及 る て 大 ポ ス を 7 訴 ブ ザ 擾 オ \checkmark 7 0 1 ッ ラ 英 ŀ .]. ン 國 因 を K 太 を K 平 爲 7 洋 げ 中 ホ た 1 艦 た 1% 隊 *b* る る IV 英 司 K • 令 次 K 急 官 6 軍 代 航 ŀ 理 し 1 扩 頒 事 7 ij 事 ス 1 少將 シ ス 審 ム フ K プ 才

K 見 基 合 直 會 匹 大 見 政 多 づく ___ 7 政 K 府 國 し 年 0 政 政 は を 7 0 0 米 府 1). 快 運 合 布 見 命 ક 諸 かぶ ン ハ を L K Γ, U 兩 ì H 代 關 K 國 \mathcal{C}^{i} 汐 國 y 才 之 つ左 表 Ļ 屬 मः Ø 古 r 爲 す 來 IJ 7 ッ 多 承 て め る 0 0 チ チ サ 大 群 宣 K 認 關 7 + 干 す 島 言 係 ン 0 £ 1 \mathcal{V}_{s} 利 明 涉 可 を ズ 0 z 現 發 害 な 陳 世 ľ 0 5 す 10 を 大 當 兩 る 6 n 統 局 る 其 感 使 ッ が 故 ず 9. 領 者 チ Ł 獨 節 群 共 る 0 に、合 を 亚 華 (A) 以 K そ・ 8 所 0 盛 見に 要す。 公 て、民 承 政 0 頓 然之を 府 な 國 K 據 情 を は $b_{\mathbf{o}}$ は 到 n 求 着 他 K 间 ば 適 重 此 諸 0 島 8 世 點 何 K 通 外 L 75 図 1 6 國 出 商 國 務 よ 3 る b よ' 入 列 つ K K 可 す 通 大 國 人 **b** ッ 17 民 統 સું る 0 世 X. T. 何 船 頒 同 利 Ø ブ゛ ブ 所 國 島 舶 盆 は スス જ 中、其 信 15 合 及 よ 学 ¥ 25

三 〇 二 55

有

合

0)

也 を 盲 す る સ્ は F 局 J. 7 b K 關 す 占 る 中 0 3" 特 る 典 可 义 は 叉 恩 何 國る 惠 を求 現 政 U 府 る 7 K ૃ L 貫 不 71>

き る 旨 る 時 を 次 米 第 を 國 は 述 i たり。 之を ラ 座 · > 亦 覛 如 同 何 年 す る な 0 7 る 國たる ٤ 會 能 K いは 與 ず、必 を \sim 問 70 ず は る p ず 敎 同 此 國 國 中 0 K K 獨 布 對 立 l 哇 を 斷 0 害 然 世 . 立 75 h を る 手 承 Ł す 段 認 K 3 す ય 出 る 0 K グ あ 可

7 と 事 形 臣 翌 κ 定 之 华 7 K を を は ノバ 以 獨 ح 諸 Kt ţ デ 0 江 兩 T す 國と 國と 爲 宣 政 言 る bシ K K 0 정 て承 米 と、時 亦 係 國 は Z 來 5 認 0 を t 0 0 ず、群 し、直 誘 駐 全 爭 W 英 立 ~ 島 大 接 K K を 加 0 處 K HH .ni. 飯 좡 理 ず E B せ 士. 間 す 70 る 0 接 中 る L が B Z 如 1 ٤ K h 0) 정 宣 步 を カゴ 兩 如 盲、 2 Ł 其 保 Ł 何 る た 次 南 g を は る る 3 國 Ø 發 更 に、米 部分 0 h Ł しず K 名 認 か ---を以 國 8 步 \mathbb{C} ン 政 જે **F** る r 府 7 本 占 K 炒 す・ は \aleph 飯 J. 英 歐 る 世 ッ 7 3 は 3.

ぞ な 認 K る t る 束 な 勢 반 飞 づ 力 布 યુ Ł る Ł 哇 0 す 有 何 0 カゾ 放 獨 75 な 硶 行 立 る 土 6 左 に、英、佛雨 及 保 右 જ 0 ず E 保 CV. 全 K 0 飯土 な 留 6 託 r は之を 國宣言 宣 あ 兩 3 b せ る h 7 全 0 之 加 0 70 論者 て、之に .併 名 \mathcal{K} る 其 햗 0 為 \gg 應 旨 合 英 Ø 加 には、米 北 す V 次 L 米 る に、 五. 兩 0 7, 國を て、表 此說 જ 國 Ł 5 推 0 政 K 0 て、或 府 面 K 察 或 引 非 領 上 入 0 3 卽 れ、將 Z: 土を Z は 3 5 大 が る K 豫 0 0 布 n 侵 來 T 7 10 意 Z 迎 Ł K 些 米 單 貫 0 國 於 ゃ E b を K る を 3 Ţ స్ట は、米 國の ر ک し、自 0 当 國は 手足 より、 t る 立 て優 Ł 1 を

---K に、本 7 • に於 Kt 英。佛 三年 て. は 兩 、容易 國 前 K n K ~ 5 記 布 Z'' 哇 る た 獨 大 立 Ž 0 承 8 認 談 じ 剕 を 7 國 進 加 英 行 存 つ ケ 立 1 甚 あ R X る 危 プ

米布台併の先例

57

三〇三

난. 歸 ッ K 1 3 じ し 途 七 ŀ 英 L J. か 民 ν で英 り、王 中 飯 た 0 3 " ٤ た **(2)** る 臣 K 水 K ŀ 翌 b_{\circ} 所 Z 歸 を 下 卿 は 1 乘 日 爲 布 た 逐 太 加 ケ L 0 ル じ 캎 政 故 平 75 を • 告 る 所 て、ポ K 6 7 る 不 に寄 爲 可 K に 布 L を 布 ス 當 艦 0 し 囘 0 觀 と 申 フ ٤ 隊 *b* て、 シ 此 才 爲 あ 司 0 が Γ ッ な 仁 有 非 る 時 分 b 國 出 1 き 様を 猶 し 旗を や否 官 で Œ 政 ŀ K 女 豫 其 た 太 Ø 權 於 は 見 徹 る Ţ や、其 處に、米國 更 な 1 を 7 る を 英 て. b 加 L ∇ K は す 決 以 布 7 B 75 國 ス 右 直 英 定を る 告 办 < 7 K 六 K 軍 卿 兵 國 讓 簡 國 は を ረ を 發 聞 旗 Ł 艦 旗 は る 力 ----月 し **_** を 直 ---< K K 0 揭 ンス 方 밫 K 7 ダ K で、暫 宣 た ブ な げ 求 L ক্র 切 言 英 て、 る IJ 5 ゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙ 着 を 0 は ず V 本 ン K と < 4 シ 直 發 國 國 政 前 K 1 誻 大 5 \pm 撘 權 K 般 政 7 9 し Ł プ 抗 溗 Ħ. E 0 府 ス ~ Ø 目 し 爀 て六六 ソンと 再. 變革 實 箇 少 し ン 政 し、國 K 7 清 權 府 於 月 Q. . 國 -8 箇 國 來 0 申 國 を Ø を 王 王 ~ \pm 斷 其 な 着 b 入 £ 明 果 0 K 0 K b n 行 水 掌 渡 b 迫 之 還 歸 Ļ た た 中 1 K し 7 b 航 る K V ---1 ボ た

7 K 進 Ł 至 K K 工 0 る 逝 信 7 b ぐ 力 辯 7 党 I. X) b た ッ る 英 を る V 明 9. સ ッ る 华 國 政 12 0 0) K \mathfrak{P} な な 7 書を 之 75 る *T*J. b かご 一と告 華 る K b K 送 當 と云 は 盛 頓 を 卽 げ る 頓 ふ てい布 5 ist 通 ふ 駐 75 我 剳 る 可 哇 Ĺ 國 0) は 國 せ 公 米 本 王 かご は 國 漸 使 來 b國 國 叉 を 0 公 加 \mathbb{K} < 加 歐 米 布 L 主 使 次 て、軍 義 Ł 第 W 國 國 哇 K K ド 强 L 王 K 適 務 於艦 布 及 図 7 V) ケ 哇 合 0 國 Ω 手 務 米 す る IJ を V 重 中 米 Ì る 扩 X 要 정 K 函 K 落 視 特 プ 0 レ つる 殊 才 す K は Ų 時 る 是 K 0) 1 て、自 を n 其 地 |-厂 0 防 至 全 窮 0) 67 行 止 敦 < 5 8 b を 爲 Œ す 駐 英 75 る爲 國 當 剖 K る U 證 Ţ

Ť જ 1/ __ Ł き 年 米 事 關 ---た 實 步 献 5 0 及 通 條 な 3 係 商 約 例上 5 條 り、米 旣 を L 約 其 K 結 を 0 Z) 締結 0) 7 政 ---4 如 共 方 K L は 1 70 密 布 は 英、佛 接 る X 哇 代 生 丌 K る 表 於 兩 > \subset 委 K 國 7 上 至 員 裁 0 b 如 を 判 及 き 0. 75 批 る 布 CK" 6 淮 K 哇 -(を 拘 條 Ł 0 は 約 K ら 締 關 ず 就 ず、兩 結 係 \$ 7 兎 0 種 角 國 今 0 圓 日 K 滑 特 캎. K B r 6 は

俳 0 殆 59

例

同 ル た 至 (Treaty 談 1 る 0 0 常 樣 0 る 判 25 ブ 重 K を Ø 盛 K 女 間 を 15 才 叫 災 取 of friendship,commerce,navigation and 頓 約 華 で K る 雙 難 哇 る IJ 八 扱 K 存 K 行 જ 方 を 败 於 જ 年 ッ Ś 譋 續 頓 は 毎 プ 新 Ħ. 被 0 7 可 印 尊 る K 右 K 0 は 任 b Ė 文全 重 於 7 佛 親 贈 5 た 0 其 た 世 7 0 物 條 bo 密 先 5 國 國 り、之よ 功 盛 開 0) ブ 國 Ł 領 約 例 间 始 n を L 政 如 事 締 を ラ し、布 是 たり 等 て、王 結 ン < デ b 示 n 同 4 \mathbb{V} な 4 先 談 米 デ き。 位 哇 3. 對 判 b 0 Ė 1 U 0 た 國 0 *b*. Ļ 進 等 K し 匹 代 ン る 後 સ カゾ L デ K 六 行 課 身 17 布 表 જ 八 0 を extradition") を 年、佛 中、布 畵 44 1 八 3 哇 0 湝 K 四九 5 IJ 像 જ K 0) カ> L ジ る 7)> を國 國 哇 ン の、其 5 て、後 , **3** 年 て O) 5 1 は \mathbb{C} 立 ず K > 召 吏 王 英國 布 批 7 Ÿ を 年 至 湿 准 入 力 は 哇 承 布 締 7 + 叉女 稅 を 7 × ٤ 書 英 0 認 結 を 共 諦 ハ 最 0 Ų 佛 加 K ¥ 佛 高 求 携 8 且 兩 米 即 す 國 銮 帶 布 を > つ 國 11 Ξ 8. 領 之を たり。 な る 生 L 哇 Ł K 0 V 世 事 る K 7 ć 米 合 E 至 着 2 K 到 國 ٤ た 謻 VC. 獻 着 事 ځ n 任 條 る K 他 45 1 り。第 公 約 を構 所 傚 0 ず L 0) B K 佛 32 る 文 を Ţ 文 Ω る 更 等、最 書 論 結 年 明 國 ^ b. て B 1 Ξ に ርጀ ~ 同 K 文

以 す 恐 ン せ ----6 る 下 ブ K る を r を 所 舊 ζ ラ 可 宣 Ł あ ン 뱡 K + を b る 亚 水 K r る Ò 0 國 申 1 不 \pm યુ 反 ル 3 り、俳 右 る 入 公 ぐ す ` b 0 75 輸 稅 75 平 75 ζ る は 0) =1 h $b_{\mathbf{o}}$ 求 を. る 重 3 入 國 刀 K ッ 강 43 に、ト 0 苁 E b ŀ ઇ 0 沟 を奪 要 る + 國 艦 國 0 7. な 求 __ Ŧ す 箇 政 u 王 飯 及 條 隻 る (1) 府 J, 點 に 事 Ω は ラ 、砲臺を b٠ ر 水 K 損 0 通 は、之 0 直 就 ප් ٤ 要 狀 ン 害 出 告 K 提 汞 し、三 を 及 腤 ル T 1 使 破 督 布 以 は CK" 償 Ł ` 9 K 飾 70 要求を 壞 哇 K È, 第 云 日 *b* 陷 は を 7 政 し、銃 兵 四 31 四 V. b 府 b 隊 Ξ は K 75 拒 は 年 を 0) JU る 砲 7 1 K. 艦 之 絕 其 弾薬を 上 六 英 7 飯 IJ J: 陸 K *b* 内 年 <u>ل</u> 隻 佛 し、且 人 英 對 ラ 世 譋 Ł 重 は 間 放 米 印 世 L 布 つ な 斯 L 7 K Zi 獭 Ĩ (條 兩 $\frac{\lambda}{2}$ る 0 る 約 辯 約を 政 __ 新 る 破 7 無 國 を 稅 K 解 府 點 條 事 損 法 飯 75 第二 關 સુ 約 デ す \emptyset は を 事 新 る L 承 働 る 2 交 第 ~ 訂 布 は は、其結 < 通 祭 國 = 認 U 0 色 . J. 哇 K は 文 0 U 他 親 70 亂 u 7 0) る 0 0

6Ĺ

俳

0

先

例

62

70 # h Ł 欲 し 10 3 8 其 申 な T 折 Ø. 里 より倫敦 色 7 國

ライ 唯だ る て容易に其 7 立 ラ 布 出場と決心 才 佛布 ヴ ス グ 0 ス に送りて、佛 飯 0 功 を 目 土 とを知 を奏す し 下 中 7 全 0 佛 を 國 5 可 國 公 政 外 府 U જ 務 P. に通 Z 非 卿 ~(を K 2, は、充 7 b 告 b 對 ٤ 7 75 せ を L し 米 b が、之 勸 浓 0 と云 め 告 $\mathcal{A}_{\mathcal{D}}$ 政 75 かぶ ず 力 た る ঠ্ 爲 る を る જ B 所 試 公 સ્ 亦 文書 當 K 南 U 溡 5 可 0 國務 中 DLI 哲 25 K * を 7 約 日 70 V て、米 る 11 し、當 ì 0 K ŀ V 事 國 時 1 ン 不 田 ŀ 0 は 宣 里 穩 布 ン 之 音 ょ 哇 駐 K K 剳 6 立 應 K 加 對 公 至 0 せ 公 す ず b

國 官 0 K K 對 て、佛 見にて、之を は 7 國が 執 及 外 CL" る 務 兩 其 0 事情 タヒ 意 國 思 間 K r K チ 徵 有 於 K 太 す し 對 V て、此 平 可 31 洋 貨 し 7 事 借 K ٤ 果 は 於 通 b 容 し 商 た H て、實際 易に そ る ると同 米 國 飯 な 京 る 5 關 土 0 h 係 K 能 政 は K 略 對 は する は、貴 ず。 そ 同 群 11. 官 然 サ 島 ン ン は n 1. 加 適當 F 汐 ゥ જ 若 af: な 0 ッ る ッ チ チ

K 行 T ず。 は n 정 は 絕 7 な 支 を 由 酡 を 0 が 7 通 下 K 足 \emptyset 少 す B 반 る 治 る h Ø 者 可 Ł み し。 する の下 勿論 8 K 存 米 米 國 續 國 \mathbb{K} し は同 7 1 漫 諸 然 外 群 島 傍 國 觀 Ł 0 主 す \emptyset 權 交 る 7 憜 を ٤ 欲 加 す Œ 當 は る Ś, 公 정 平 0

を拒 其 に 五. 要 Ο 水す て、國 7 L た b_{\circ} る 所 政 國 , ウエ B 政 米 府 國 K は ブ 政 ベ る 0 デ χ 本 府 ラ 1 は之を 公 ダ 旨 U ン ン Ţ 1 は 文 る は 、同島を併 0 闡 巴里な જ きべ のを 中 し K ラ ン 吞 る た 水 日 ライ ζ. す る かご る ル 再 17 0 0 ` CS. ス 口 に 實 同 送 公 デ き 使 1 bな 7 K U 命 5 ン 談 h 同 H 判 じ n と 樣 Ł -(す ば、布 米 再 0 る 難 開 哇 題 t 0 જ 0 は E 決 叉 V-巾 X) 吹 外 出 8, 15 を な 之 3 づ

る Ø せ K カ> 至 ず。為 態度 官 可 は は、米 W) 是 此 n に 題 政 K L は 就 U 及 國 可 き 政 ZJ. Ė 府 國 民 Ł 外 果 0) Ł K 我 於 卿 は 現 云 7 K 溡 之 は 0 を 7, 不 友 る 情 襺 後 を 得 足 を ず L K 國 被 は て K せ 布 若 だ 3. 哇 5 し し 島 時 < n 機 損 ٤ 主 遲 欲 ず 办 ·H

米布合併の先

三〇九

步 在 Ħ 75 ず カ> 0 K Ł (米 す 44 る 7 0 永 0 1 百 手 0) 灰 る を 0 を悲 7 0 平 み る 改 國王 정 75 米 の後『布哇 K つ 書 22 6 る 7 は 7 0 す 邃 米國に哀 办 ă らずしと 護を は K જ 政 米 其 國 0 國 4 K 布 を 可 K る る き 與 0 於 U b 0) 至 責 ^ 法 7 7 告 5 K K 及 些 げ 獨 布 る J. す 窮 CL" CC 立 國 可 0) K 1 ١ 孜 0 0 は \$ は る L $\mathcal{Y}_{\mathcal{Y}}$ す 0 實 遂 1/2 布 7 る に を 上 K 至 約

講

0

に至

n

b_o

演

本年度の歳計に就て

岩規禮二郎

何度も言はれたてとを繰返して申すのであつて、出すてとが出來ませぬので止を得ず是まで世間で 間にも 聽を を願ひます、殊に財政意見に就い 甚だ御迷惑のてとゝ存じますが何とぞ暫時御聽き たやうな御話でありますが、他に適當な問題を見 随分御話を致します度毎に、 居る 快に 一畫に關する利害得失の論究などでありますれば 實を 煩 御話が出來るであらうと思ひますけれども 0 話されて居れ 御話するのでありますから矢張り同じてと L 70 より であつて、 V 暫時本 と思ひます。 今日 ば議會等の討論の問題になつ 年度の歳計に就い から見れば殆ど黴の生 是は 或は人の變る毎に、 昨年の秋頃 ての御話ならば、 て諸 から 君の 世御 \sim

> 諸君が ます、 皆様の資格を十分證明なざる機會で から、 てとであっ られる資格があると云ふ證據になるのであります 決して奇抜な議論とか、 斷り ぬと思ひます、 聽きなされるだ られる御方は、 乾燥な數字を羅 知置を願ひ 申 叉詰らない數字を忍んで聽かれるの。されるだけの素養があると考へるの 資格を十分證明なさる機會であるか私の詰らない話を御聽きなさるのが 理財學の研究をなされて げる ます、 のは、 75 7 割合に無味乾燥な數字を忍んで御 言かに過ぎぬと云かてとは激め V ので し諸君の如き理財學を研究せか、面白い話ではないと云ふ て御聽きに入れるのであつて是から申上げるのは誠に無味 あり ます、 • 而も理財家とな ほもう一つ 初 であり 23 • 即ち は

四十二年の豫算に比べて何所が違つて居るか 前年度と比べて何所が 行せられついある際 是から數字を羅 W. 7 列する 御参考にしや 算、 違つて居る のであり 即ら四十三年度の豫算は かい ます と思ひます、 即ち今年實 加 成べ

講

65